

## トマト「桃太郎シルク」の夏季高温対策を実証中

近年、トマト栽培において夏季の異常高温で日中のハウス内温度が連日40℃を超え、管理作業をする生産者への負担やトマトへの高温障害が問題となっています。

そこで今年度、JA晴れの国岡山びほくトマト部会では、遮光・遮熱資材（ネットや遮熱フィルム、塗布剤）による高温対策を実施しました。

遮熱POフィルムを展張したハウスは、ハウス内温度が慣行POフィルムに比べて低下したものの、果実の裂果防止には効果が見られませんでした。一方で、直射日光を物理的に遮る遮光・遮熱ネットや遮光剤は果実品質や高温時のハウス内労働環境の改善につながることが分かりました。

普及指導センターでは、今後も高温対策資材を検証し、現地への普及を図っていきます。



外張り白色遮光・遮熱ネット



遮熱POフィルム



開閉式内張り白色遮光・遮熱ネット



遮光剤の塗布

### 導入農家のコメント

- ・ 遮光ネットを張ったことにより、昨年に比べ裂果が少なくなった。
- ・ 裂果に差はなかったが、遮光資材を設置したハウスの果実は硬かったのがよかった。
- ・ 遮光資材を設置したハウスは温度が低く、作業がしやすかった。
- ・ 遮光した場合、曇天が続くと、がくの開きが悪くなる事例があった。

## 黒大豆の高温・干ばつ対策について

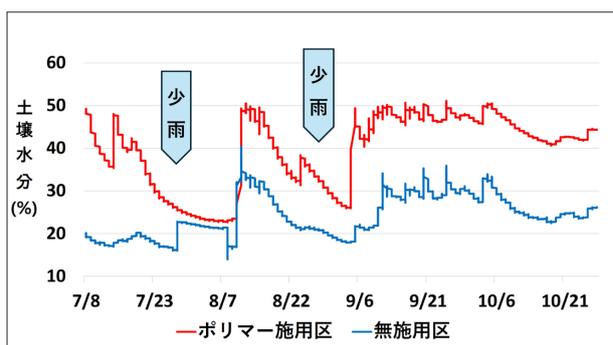
近年の夏季の異常高温や少雨により、黒大豆の莢着きの悪化が深刻な状況となっています。

高梁市内の黒大豆の生産地はかん水しにくいほ場が多く、少雨が続きと土壤水分が不足し、花落ち、莢落ちが発生しやすくなります。

そこで今年度、播種前に農業用保水ポリマーを土壤に散布し、無かん水で黒大豆の栽培を行ったところ、無施用のほ場と比較してポリマー施用ほ場では着莢率が高まり、収量が向上しました。



保水ポリマー（左：吸水前、右：吸水後）



土壤水分の推移 (深さ 20 cm部分)



莢着きの比較  
(左：ポリマー施用区、右：無施用区)

### 実証農家のコメント

・干ばつ対策として、一定の効果は期待できる。

## 非プラスチック被覆肥料の取組拡大に向けて

水稲用の一発肥料として広く利用されているプラスチック被覆肥料ですが、肥料成分が溶出した後の被膜殻が河川等へ流出することが問題となっています。

そこで、環境への負担を低減するため、代替となる非プラスチック被覆肥料の利用拡大に向けて、市内3地点で早生品種を用いて安定生産実証を行った結果、慣行肥料と同等の収量を確保することができ、施肥コストに大きな差は見られませんでした。

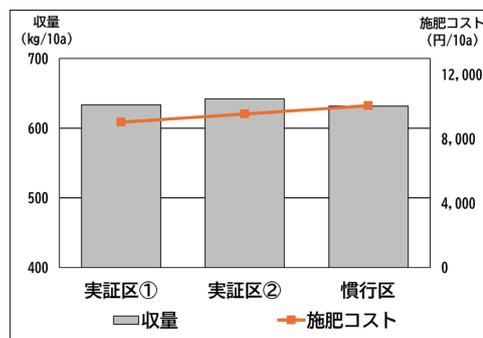
環境にやさしい水稲栽培に向けて利用を検討してみたいかがでしょうか。

### 施肥設計 (窒素量は同量を施用)

区分	肥料名
実証区①	環境保全型水稲一発(早生用)
実証区②	UF入り化成200(早生用)
慣行区	プラスチック被覆一発肥料



安定生産実証ほ



肥料による収量と施肥コストの違い

## 持続可能な水田農業に向けてスマート農業を推進しています

近年、水田農業では、作業の省力化・軽労化を目的としたスマート農業技術の導入が進められています。

そこで、普及指導センターでは8月21日に、市内の水稻生産者や集落営農組織等を対象とした「スマート農業現地研修会」を備中町平川地区で開催し、ラジコン草刈機2機種による畦畔の草刈り実演のほか、今年度から地区内で新たに導入された農業用ドローンによる施肥実演を行いました。

多くの生産者が参加し、スマート農業技術への高い関心が感じられました。

### 研修参加者の感想コメント

- ・ 中山間地域でのドローンの活用方法について聞くことができ、参考になった。
- ・ 今後、労働力不足が進む中で、管理作業の効率化の必要性を感じている。



農業用ドローンによる施肥実演



ラジコン草刈機の紹介

## 補完品目として「花き」栽培を推進しています

J A晴れの国岡山びほく花木生産部会では、異なる品目を組み合わせた複合栽培を推進しています。

近年、「ぶどう+花とうがらし」、「もも+南天」、「アスパラガス+しゃくやく」など、果樹や野菜と組み合わせた栽培が増加しています。

これらの花き品目は、繁忙期が限られるため、他品目と組み合わせやすく、初期投資が少なく、小規模でも栽培が可能など、メリットが多い品目です。補完品目として「花き」栽培を始めてみませんか。

興味のある方は、普及指導センターまでお問い合わせください。



しゃくやく

### 各花き品目の繁忙期

花き品目	繁忙期
しゃくやく	4～5月中旬
花とうがらし	8月中旬～9月上旬
南天	12月上旬
フォックスフェイス	5、7、10月



南天



花とうがらし

## 農業者年金は最強の“農家の資産形成術”

農業者年金は、農業に携わる人が自分で積み立て、老後に受け取る年金です。国民年金に上乘せして、農業者の生活を支えるために作られました。

一方、iDeCo（個人型確定拠出年金）は、自分で積み立て・運用する年金制度です。農業者年金の最大の特徴は「国庫補助」と「終身年金」であり、特に若い世代には資産形成の大きな支えとなります。若い農業者の方は、ぜひこの機会に加入を検討してみてください。

### 若い農業者に有利な点

メリット	詳細
保険料の国庫補助	39歳以下で認定農業者等の要件を満たす方は、月2万円の保険料のうち最大1万円を国が補助します。
長い期間の運用と積立	若いうちに加入すると、運用期間が長くなり、将来の年金額が増える可能性があります。
月額最低保険料の特例	35歳未満は特例で、月額保険料を1万円からに設定できます（通常は2万円）。
保険料の柔軟な変更	月額2万円（特例で1万円）～6万7千円の範囲で自由に設定でき、経営状況に応じて見直せます。
全額社会保険料控除	支払った保険料（家族分含む）は全額控除となり、所得税・住民税が軽減されます。
終身年金で生涯受給	65歳から一生涯年金を受け取り、老後の安心を支えます。
積立方式・確定拠出型	少子高齢化の影響を受けにくく、積み立てた保険料と運用益が将来の年金になります。
運用益が非課税	運用益は非課税のため、その分年金原資が多くなります。



(独) 農業者年金基金HP

## 水田裏作に飼料作物を作付けしてみませんか？

近年の飼料価格の高騰を受けて、岡山県では県産飼料の増産を推進しています。

その一環として、耕種農家が稲WC Sや飼料用米を生産し、畜産農家に供給する耕畜連携による取組を進めています。

また、畜産農家の取組として、水稻収穫後の裏作で秋にイタリアンライグラスなどの飼料作物を播種し、春に収穫する方法が注目されていますが、近年では「もっとたくさん量が欲しい。」という畜産農家からの要望が増えています。

県では、水田の裏作を活用して県産飼料の生産を増やすため、耕畜のマッチングや栽培者への支援を実施しています。興味のある畜産農家の方や水田の裏作に協力いただける耕種農家の方がいらっしゃいましたら、ぜひお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

備中県民局 畜産第一班 電話：086-434-7033



イタリアンライグラス収穫作業

# 新規就農者を紹介します！



えのもと ゆうき

**榎本 雄利さん**（就農場所：川上町、経営品目：ぶどう）

両親が川上町に移住してぶどう栽培を始め、その手伝いをしているうちにぶどう栽培に魅力を感じ、自分でも栽培したいと考え、妻と一緒に川上町に移住しぶどう栽培を始めました。

地域の先輩農家から栽培技術を学び、ピオーネを中心にシャインマスカットなど複数の品種を組み合わせることで経営を安定させていきたいです。



みうら よしのり さわこ

**三浦 芳範さん・佐和子さん**（就農場所：備中町、経営品目：ぶどう）

移住先を夫婦で探していたところ、湯野地区を紹介して頂き、何度か足を運んでいくうちに、自然豊かなこの地でぶどう栽培を生業に生活していこうと決め、大阪から移住してきました。

研修を経て2025年9月に就農しました。思うようにいかない事もありますが、失敗も次に活かせるよう日々奮闘中です。

びほく地域のぶどうをもっと多くの人に食べてもらえるよう、頑張っていきたいです。



わたなべ けんいち

**渡邊 研一さん**（就農場所：成羽町、経営品目：ぶどう）

数年前、サラリーマンに限界を感じ、農業を始めたいと思いました。時を同じくして近所のぶどう農家さんが栽培をやめる話があり「それは勿体ない」と手を挙げたのが就農のきっかけです。

農林水産省が認定した農業技術の匠に、土作りと堆肥について学び、将来は土づくりにこだわったぶどうを栽培したいと思っています。



おの ひろお

**小野 広生さん**（就農場所：宇治町、経営品目：ぶどう）

バイクツーリングで宇治町を走っていたところ、たまたま今のぶどうの師匠に出会いました。ぶどうの研修を始めてから早や2年、すっかりぶどうの美しさに惚れ込みました。

就農し、びほくブランドをしっかりと盛り上げ、高品質、ぶどうの美しさを追求していき、将来的には夫婦でぶどう作りをしていきたいです。

\*R8.2月就農予定



もりやま げんき

**森山 元生さん**（就農場所：有漢町、経営品目：ぶどう）

兵庫県神戸市で小学校の教諭をしていましたが、有漢町でぶどうを作っている祖父が高齢となり、跡を継ぐことにしました。

地元の先輩農業者の方々からぶどうの栽培技術を学び、ぶどうで経営が確立できたら、他の作物の栽培にも挑戦したいです。また、小学生に農業と関わる機会を提供していきたいと考えています。

\*令和7年4月から令和8年2月に市の認定新規就農者に認定された方（予定含む）を紹介しています。  
\*県では、新規就農支援施策の基礎資料とするため、市と協力して毎年「新規就農者調査」を実施しています。65歳未満で農業に専念される方は対象となる可能性がありますので、調査に御協力をお願いします。

## 第58回岡山県農林漁業功労者表彰 〔農産部門〕（岡山県知事表彰）

こばやし みとじ  
小林 三十二さん



もも主体の経営に取り組んでいます。早生、中生品種に加え、県が育成した「白皇」など複数の晩生品種を導入して長期安定出荷を実現しています。また、新規栽培者に対して積極的に助言するなど、部会の将来を担う人材の育成に尽力されています。

さらに、高梁市認定農業者協議会長に加え、高梁市農業再生協議会等の役員として、地域計画の策定に向けた協議に関わるなど活躍されています。

## 第58回岡山県農林漁業功労者表彰 〔農産部門〕（岡山県知事表彰）

ものべ てつや  
物部 徹也さん



ぶどうと水稲の複合経営に取り組んでいます。省力技術を積極的に導入するとともに、複数の品種と作型を組み合わせたぶどうの大規模経営モデルを確立しています。

また、「平川村定住推進協議会」の副会長として、新規就農者の定住に向けたきめ細やかなサポートや、新たな農地造成事業に当たって地権者との交渉に取り組むなど、地域の振興に尽力されています。

## 第58回岡山県農林漁業功労者表彰 〔農産部門〕（農林水産部長表彰）

のむら こういち  
野村 幸市さん



旧備中町が整備した営農団地「山光園」における最初の入植者で、トマトを柱とした複合経営に取り組んでいます。定植時期の遅い作型の導入や、独自に開発した給液装置による施肥コストの低減を実現しています。

新規就農者の確保や青年農業者の育成にも取り組まれ、自身も就農希望者を研修生として受け入れるなど、産地の活性化に寄与しています。

また、耕作放棄地対策では和牛放牧に取り組むなど、地域農業の維持・発展にも貢献されています。

# おめでとうございます！～令和7年度受賞者・受賞団体～



## 第58回岡山県農林漁業功労者表彰 〔農山漁村活性化部門〕（農林水産部長表彰）

うじざっこくけんきゅうかい  
**（一社）宇治雑穀研究会**

もち麦の栽培と、もち麦商品の開発・販売、地区内外のイベントへの参画等により、耕作放棄地の解消や雇用の創出、移住、交流人口の増加、食育の推進など、宇治地区が元気になる取り組みを行っています。

令和元年にオープンした「カフェ麦」は地区内外から多くの人々が訪れる交流・憩いの場として定着しています。



## 地域づくり推進賞

びっちゅうりよくのうかい  
**備中緑農会**

市内の農業後継者や新規参入者で構成される若手生産者グループで、地域や農業経営で抱える課題解決に向けたプロジェクト活動や地域行事への参画を通して、地域農業の発展のために活動しています。

新規参入者は、活動を通して生活・農業技術情報や身近な相談相手を得て新たな人間関係を構築することができており、若手生産者同士の交流の場として、農業経営の確立や移住者の定着にも大きく貢献しています。



## 矢野賞

よだ かずや  
**與田 十也さん**

平川村定住推進協議会の体感・田舎暮らし事業への参加、農業体験・実務研修を経て、平成29年にトマト農家として経営を開始しました。軒高の連棟ハウスの導入、土づくりや遮熱資材の活用により、夏季の高温下でも安定した高収量を達成しています。また、研修の受入農家として就農に導くとともに、自身の移住や就農の経験を地域へ還元し、新たな担い手の確保・育成に大きく貢献しています。

# おめでとうございます！～令和7年度受賞者・受賞団体～

## 令和7年度 全国優良家畜管理技術発表会

優秀賞 <sup>えぐさ</sup>江草 <sup>こういち</sup>孝一さん・<sup>まゆみ</sup>真弓さん

岡山県主催の共進会で入賞されました

## 令和7年度 岡山県うまいくだもの共進会

### 【ピオーネの部】

優秀賞 <sup>うめづ</sup>梅津 <sup>なおゆき</sup>直幸さん      奨励賞 <sup>かわかみ</sup>川上 <sup>たけのり</sup>武則さん  
奨励賞 <sup>すずき</sup>鈴木 <sup>ゆういち</sup>雄一さん      奨励賞 <sup>はしもと</sup>橋本 <sup>けん</sup>憲さん

## 令和7年度 岡山県花き共進会

奨励賞 <sup>いしかわ</sup>石川 <sup>ちよこ</sup>千代子さん

## 第64回 岡山県枝肉共進会

### 【和牛去勢の部】

最優秀賞7席 <sup>えぐさ</sup>江草 <sup>くにあき</sup>国昭さん

### 【和牛雌の部】

最優秀賞首席 <sup>えぐさ</sup>江草 <sup>こういち</sup>孝一さん      優秀賞(株) <sup>みやけ</sup>三宅ファーム

## 第80回 岡山県畜産共進会

### 【乳用種牛の部】第3部ホルスタイン種未経産牛(13ヶ月以上16ヶ月未満)

優等賞2席 <sup>うえもり</sup>上森 <sup>とおる</sup>亨さん

## 令和6年度 岡山県青年農業者大会

優秀賞 <sup>びっちゅうりよくのうかい</sup>備中緑農会



岡山県備中県民局農林水産事業部  
備北広域農業普及指導センター

〒716-8585 岡山県高梁市落合町近似 286-1

革新農業推進班 0866-21-2850

担い手・農産班 0866-21-2851

園芸班 0866-21-2849

FAX 0866-22-4059

ホームページ

<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/107/>

高梁地域の就農情報

<https://www.pref.okayama.jp/site/587/>

農畜産物生産課

〒710-8530 岡山県倉敷市羽島 1083

畜産第一班 086-434-7033

FAX 086-425-4921



(ホームページ)



(高梁地域の就農情報)